

いちご日本一の真岡市で『みどり』のおもてなし植樹式 ～野鳥が訪れる自然豊かな空間を未来に～

この「おもてなし」は、地域の森林ボランティア団体、事業者、行政等と一緒に、
「地域の豊かな緑」で「観光客や地域住民をおもてなしする」ための緑化活動を行うものです。

おもてなし事業2年目の今回は、10月27日(土曜日)に真岡市長田 自然ふれあい園“大久保”を
会場に植樹式を行いました。

この自然ふれあい園は、もおか環境パートナーシップ会議の皆さんが管理しているところです。
みなさんの憩いの場となっているこの場所に、自然とふれあえる自由空間を作るため、
野鳥のえさとなる木の実のなるエゴノキとニシキギを植えました。
その様子をお伝えします。



当日は朝まで雨が降っていました。
イベント開始時にはどうにか雨は止んでくれました。
よかった～～～。

司会進行は「2018マロニエメイツ」の鳥羽さんです。



左から順に真岡市、
苗木を寄贈して頂いた(公社)とちぎ環境・みどり推進機構
栃木県県東環境森林事務所
もおか環境パートナーシップ会議
の方々です。



グリーンアドバイザーの高橋さんから、県土緑化のメッセージ伝達



植樹に参加してくれたのは
もおか環境パートナーシップ会議の皆さん、
地元自治会の皆さんです。
ご家族での参加、ありがとうございます。

穴を掘って、土をかぶせて、大きく育ちますように。



今年も県東地区“エコ・もり”地域推進協議会の会員で
ある
「キャノン株式会社宇都宮営業所」の方も植樹に参加し
てくれました！
ありがとうございます。

背の高い木がエゴノキ、株になっているのがニシキギです。



植樹後にはみんなで記念写真



夏にはエゴノキの白い花、秋には赤く色づいたニシキギの紅葉が楽しめます。
木の実を食べに来る小鳥の姿も見られるかも？



エゴノキが大きく育って、こんな白い花と緑色の実がなることを期待です。

今回のイベントに協力、参加していただいた皆さん
ありがとうございました。